

ひとよし市議会だより

2010 第64号 平成22年4月15日

発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページからでもご覧になれます。

<http://www.city.hitoyoshi.lg.jp>
Email gikai@city.hitoyoshi.lg.jp



球磨川堤防に咲き誇るシダレ桜（中神町小柿付近にて）

【議会の主な行事】（平成22年1月～3月）

3月

- 25日 議会運営委員会、全員協議会
- 24日 厚生委員会
- 19日 予算委員会、全員協議会
- 18日 総務文教委員会・厚生委員会
・経済建設委員会
- 17日 総務文教委員会・厚生委員会
・経済建設委員会
- 16日 総務文教委員会・厚生委員会
- 15日 予算委員会、全員協議会
- 12日 議会運営委員会
- 10日 全員協議会
- 4日 球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会
- 2日 公益的施設の適正配置に関する特別委員会
- 2日～25日 第1回定例市議会
- 2日 全員協議会

2月

- 23日 議会運営委員会
- 18日 定期総会
- 16日 全国高速自動車道市議会協議会
- 15日 全国市議会議員研修会
- 12日 南九州中部市議会議長会定期総会
- 9日 球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会
- 8日 全員協議会
- 5日 全員協議会
- 4日 奈良県天理市議会行政視察来入
鹿児島県阿久根市議会行政視察来入

1月

- 27日 大分県竹田市議会行政視察来入
- 26日 特別委員会
- 23日 公益的施設の適正配置に関する特別委員会
- 18日 熊本市議会議長会研究会
- 18日～20日 千葉県柏市議会行政視察来入
- 7日 議会報編集委員会(12月議会分) 全員協議会

総務文教委員会報告

●委員長 下田代 勝 ●副委員長 川野 精一
●委員 西 信八郎・永山 芳宏・本村 令斗・仲村 勝治・大王 英二



大畑コミセン駐車場を視察する総務文教委員会

総務文教委員会には、条例案件8件、予算案件6件、陳情案件1件が付託をされました。

条例案件の主なものとして

- ① 人吉市長等の給与等に関する条例は、職員の不祥事に関して市長及び副市長の給与を減額するもの。
- ② 人吉市地域公共交通会議設置条例は、道路運送法の改正により、乗合事業の対象範囲が拡大され、定期路線以外での乗合も、タクシー等の参入も可能となるもの。
- ③ 人吉市消防団条例等の改正は、消防団組織、編成の中で、部に副部長を置くもの。
- ④ 人吉市長期継続契約を締結する条例は、法に基づき、各年度予算の範囲で複数年度に亘る契約が出来るとするもの。(例 電気ガス、OA 機器リース等)
審査の中で、乗合事業支援は、九州産交を二重支援に

ならないよう等意見があり、いずれも、慎重に審査を行い異議なく認める事にいたしました。

予算関係は歳出の主なものとして

平成21年度補正予算のうち、議会費、総務費、消防費、教育費の中で、繰越明許費15件、債務負担行為補正が3件あります。いずれも国の経済危機対策交付金で、年度末交付となった故であります。人吉球磨地域交通体系整備特別会計補正予算、カルチャーパレス特別会計補正予算は事業確定による補正であります。

平成22年度一般会計予算は、137億5,640万5千円。総務企画関係歳出予算は、15億5,648万9千円で、退職手当、庁舎別館管理費、日野熊蔵百周年事業費であります。消防費は5億639万7千円で、人吉下球磨消防組合負担金、小型動力ポンプ購入費等であります。教育費は9億6,291万4千円で、主なものは知能検査委託料、人吉球磨総合美展、犬童球溪顕彰音楽祭等会場借上料、ひとよし春風マラソン大会補助金、岩屋熊野座神社保存修理事業費等であります。平成22年度人吉球磨地域交通体系整備特別会計予算総額は、311万6千円。平成22年度カルチャーパレス特別会計予算総額は、9,714万9千円であります。

いずれも現地調査を行い、慎重審査の結果認める事に決しました。

永住外国人地方参政権付与法案に反対する意見書の提出を求める陳情は、賛成多数で採択いたしました。

総務文教委員会行政視察報告

○日 程 平成21年11月4日～11月6日

○研修者 委員7名、執行部3名、議会事務局1名

○視察先及び視察項目

秋田県仙北市…伝統的建築物保存を通してのまちづくりについて

湯沢市…学校教育の推進(学力の向上を図る指導)

○視察内容及びまとめ

仙北市

昭和51年3月 伝統的建造物保存条例制定。

昭和51年9月「国の重要伝統的建造物群保存地区」に選定。

条例に基づいて、保存計画、防災計画を策定し、整備を進めている。行政の取組みとして観光戦略、周辺整備、環境整備も併せている。具体例として、伝統的建造、建築物の特定、道路に面した塀、門、石垣等は市費で整備。特定伝統的建造物は固定資産税の免除。

湯沢市西小学校

秋田県は、全国学力・学習状況調査では連続して全国第1位。湯沢西小は秋田県でも上位。

児童生徒は、きちんと話を聞く(落ち着いている)授業、休み時間の工夫。教師力を磨き上げている。

湯沢市須川中学校

生徒総数68名で文武両道の学校、身だしなみ、掃除、挨拶、時間厳守を基本方針とし学習にグループ学習を取り入れている。秋田県は、「英語コミュニケーション推進班」、「算数、数学学力向上推進班」を設置し、学力向上を推進している。小・中連携として、中学校教師が、小学校で教えている。

まとめとして伝統的建造物保存を通してのまちづくりは、保存のための住民組織、サポートする行政体制、文化財等に対する防災面の充実があげられる。

学校教育の推進は、少人数学級、習熟度別のクラス編成、学力・学習状況調査は、B問題(応用)に力点を入れている。さらに分析を徹底し生徒の日常生活にも活用、学校施設もゆとりのある教室、廊下、体育館が一体となった整備が図られている。

人吉市もこれらを参考に問題点、課題を検証し、充実整備のために、今後の論点とすべきである。

厚生委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 豊永 貞夫・笹山 欣悟・三倉 美千子・蓑毛 正勝



地域密着型サービス施設を視察する厚生委員会

厚生委員会に付託されました条例案件・予算案件・陳情案件について主なものをご報告をいたします。

＜案件議案＞ 議第38号「市有財産の無償貸付けについて」は、人吉市養護老人ホーム延寿荘、人吉市知的障害者授産施設希望ヶ丘学園及び人吉市知的障害者授産施設うぐいす荘の民営化を図るために、先の12月議会で議決しました建物部分と付属構造物の外に、3施設の宅地合計面積17,187.06㎡を社会福祉法人人吉市社会福祉事業団に対し財産の無償貸付けを行うものであります。

＜予算案件＞ 議第1号平成21年度人吉市一般会計補正予算(第10号)の歳出の内、3款民生費の主なものは、児童措置費の保育所運営費負担金2,769万9千円の減で保育単価の減額改定と入所児童数の減少によるものです。生活保護費の747万6千円の減は扶助費の約4割を占める医療費が見込みより少なかったためです。4款衛生費

の主なものは、健康増進費が1119万6千円の減で結核予防事業のレントゲン検診、各種健康診査事業の検診やがん検診の受診者の減少によるものです。

議第12号平成22年度人吉市一般会計予算の歳出の内、2款総務費の戸籍住民基本台帳費の増の中には、公的個人認証サービス機器とパスポート用交付端末機が含まれています。なおパスポートは今年の6月より市で発行することになります。3款民生費の主なものは、老人福祉費で小規模特別養護老人ホームを1カ所、グループホームを3カ所整備するもので、1億8,025万円計上してあります。また平成23年10月に熊本県で全国健康福祉祭(愛称ねんりんピック)が開催され、人吉市では囲碁大会が行われることになっていますが、その人吉市実行委員会に補助金140万円が計上されています。児童福祉費では新規事業でファミリーサポート事業費が計上されています。特別会計7会計の補正予算、当初予算を審査しましたが、その中の老人保健医療特別会計予算は平成22年度が最終年度となる予定です。

＜陳情案件＞ 陳第26号後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書の提出に関する陳情は、12月定例会から継続審査してまいりましたが、慎重審査の結果、全会一致で不採択といたしました。そのほか2件の陳情については継続して審査することといたしております。

厚生委員会行政視察報告

○日 程 平成21年11月9日～11日

○研修者 委員6名、執行部3名、議会事務局2名

○視察先及び視察項目

北海道滝川市・・・ファミリーサポートセンター事業
ごみとリサイクル

北海道留萌市・・・るもい健康の駅

○視察内容及びまとめ

滝川市では、本市も平成22年度より「ファミリーサポートセンター事業」を実施する予定であることを踏まえ、実施に向けての事前調査の必要性から視察を行いました。本市は委託運営の予定であるが、滝川市では市直営で運営されているという運営形態の違いはあるものの、会員の確保・広報活動・安全面等の問題点を御説明いただき、稼動に向けて課題を認識することができました。

また、「ごみとリサイクル」については、5分別7

種類【生ごみ・燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみ・資源ごみ(びん・缶・ペットボトル)】のごみ分別、ごみ処理手数料を従量制で徴収されているところが特徴としてあげられます。目の不自由な方にも指定袋の違いが分かるように、エンボス加工が施されていたり、廃食油を回収して塵芥車の燃料に再利用するなど、見習うものが多い視察でした。

留萌市では、自らの健康状況を正しく認識しながら、健康づくりをサポートする施設「るもい健康の駅」を視察しました。健康に対する意識の向上で、高齢化による医療費の増大の抑制の意味もあるとのことでした。近隣の大学病院と連携して予防医学の実践拠点の役割を果たしているのが特性で、楽しみながら体調管理・健康づくりができる施設でした。

健康に対する意識の向上が大切であり、本市の保健センターをもっと充実したものにしていけるべきだとの意見がありました。



経済建設委員会報告

●委員長 森口 勝之 ●副委員長 松田 茂
●委員 井上 光浩・村上 恵一・福屋 法晴・立山 勝徳・山下 幸一



西駅嵯峨里線道路改築現場を視察する経済建設委員会

3月定例会市議会において、経済建設委員会が審査の付託を受けた案件は次のとおりです。

人吉市一般会計の平成21年度補正予算（労働費、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費）と22年度当初予算（項目は補正と同じ）。人吉市国民宿舎特別会計の平成21年度補正と22年度当初予算。人吉市工業用地造成事業特別会計の平成22年度予算。及び債権を放棄することについての案件と陳情案件1件であります。

特に主なものをご報告いたします。

まず、平成21年度人吉市一般会計補正予算では、市民生活や観光客の皆様方に多大な影響を及ぼすことになる事業の繰越案件が大きな議論の対象となりました。特に人吉駅前広場整備事業（繰越額1億6,030万円）については7月中旬まで、中川原公園整備事業（繰越額5,130万円）は4月下旬まで完成時期がずれこんでしまう事態に

なり、当委員会としては次のような特別意見を付した上で繰越明許費を含む補正予算を認めることにしました。

意見「今般、経済建設委員会に付託された繰越明許費のうち、特に建設部所管12件については、それぞれ理由はあるものの、いずれも市民生活及び観光客、ひいては地場産業にも多大な負の影響を与えるものであり、今後十分な検証と反省のもと、再び今回のような事例が発生しないよう、市政運営には万全を期して当たられんことを経済建設委員会の総意として申し添える。」

次に、平成22年度一般会計当初予算では、商工費の中で日本百名城人吉お城まつり実行委員会に対する補助金1,200万円（同時開催の剣道大会は別予算252万円）のあり方について各委員から様々な意見が出されました。要約しますと、「2日間の日程の中にあれもこれもと多彩な事業を入れ込むことにより事業費が増大しているのではないか。祭りに対する費用対効果の検証はなされているのか。祭りのあり方と事業費補助のあり方については今後は十分な検証が必要である。」という事ですが、執行部からは日本三大祭りと同肩を並べられるような盛り上がりをめざして参りたいという答弁でありました。その他案件を含み議論を深めつつ当初予算そのものについては認めることに決しました。

なお、他の議案は承認、陳情案件は不採択としました。

経済建設委員会行政視察報告

○日 程 平成21年11月9日から11日まで

○研修者 委員7名、執行部2名、議会事務局2名

○視察先及び視察項目

北海道小樽市・・・市営住宅の指定管理者制度について
余市町・・・観光振興の取り組みについて

○視察内容及びまとめ

小樽市における視察は、昨年6月の人吉市議会一般質問において当委員会の委員から「当市における市営住宅への指定管理者制度導入という一部情報があった。」という案件であり、所管委員会として事前調査の必要性ありという観点から先進市を視察研修したものであります。なお、小樽市は平成元年から市営住宅の一部業務委託、平成16年から管理業務を業務委託、平成19年から指定管理者制度を導入しております。

当委員会では下記事項を事前連絡の上訪問しました。

① 指定管理者制度導入に伴う経費の削減効果について

② 入居者のプライバシー保護について

③ 住宅使用料の収納率の変動について

④ 住民サービスについて

各種資料に基づき詳細な説明を受けましたが、研修後の取りまとめ協議の要点は下記のとおりです。

① 経費削減効果が150万円程度というのは少ないのではないかと。

② プライバシー保護に関しては、業者に指導はしていても全く懸念がないとはいえない。

③ スケールメリットを考えた時、人吉では厳しいのでは。

④ 住宅行政に関し、市と業者の二重構造ではないかと。

等々であります。総括的には当市の規模からして市営住宅への指定管理者制度導入は大変厳しいのではないかと。慎重かつ十分な検討が必要であるという結論であります。

余市町では毛利衛氏の出身地であり、観光、研修施設の宇宙記念館を視察しております。施設計画時と現況について、大きく乖離があり、施設計画時には、将来を見据えた議論の必要性を実感しました。

予算委員会

●委員長 三倉 美千子
●委員 全議員

●副委員長 井上 光浩

予算委員会に付託されました平成21年度一般会計補正予算（第10号）の歳入（全款）について、及び平成22年度一般会計予算歳入（全款）について審査の結果を報告致します。

平成21年度補正予算は、国の2次補正により「きめ細かな臨時交付金」事業に要する経費の増額によるもの、国・県の補助事業などの、事業費の確定や最終見込みによるものであり、総額にそれぞれ1億2,636万4千円を追加し、予算の総額を162億9,244万7千円とするものです。

次に平成22年度当初予算は、主要一般財源の減収分を普通交付税・臨時財政対策債で補っています。市税は個人・法人・市民税共に景気の動向を反映して大幅な減収が見込まれています。また、固定資産税、都市計画税等も減収が見込まれていて、平成21年度当初予算に比較して、総額約1億5,000万円の減額となっています。いずれの議案も、慎重審査の結果、全委員異議なく認めることに致しました。

議会運営委員会

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 西 信八郎
●委員 松岡隼人・福屋法晴・森口勝之・田中 哲・立山勝徳・下田代勝

3月定例会においては、採決・閉会までに、①提出予定議案、今期日程案、議案質疑及び一般質問の取扱いについて、②陳情（多目的運動広場建設に関する陳情の陳情代表者の変更届について、休日歯科診療に関する陳情）、委員会付託、閉会中の継続審査、申し入れ書について、③追加議案、討論、緊急質問について、④意見書、（子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチンと肺炎球菌ワクチン及び子宮頸がんワクチンへの公費助成、

定期接種化を求める意見書（案）、国営川辺川総合土地改良事業の促進に関する意見書（案）、永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書（案））、討論、申し入れ書の取り扱い、6月定例会会期日程案について、計4回の委員会を開き、いずれも慎重審議いたしました。

議会運営委員会行政視察報告

○日 程 平成22年1月18日から20日まで

○研修者 委員8名、議長、執行部2名、事務局2名

○視察先及び視察項目

佐賀県伊万里市・・・議会改革ほか議会運営全般

長崎県大村市・・・議会基本条例、議会活動報告ほか
議会運営全般

○視察内容及びまとめ

伊万里市では、これまで取り組んだ議会改革の事項として、身障者・高齢者へ配慮し、議会棟・傍聴席にエレベーターの設置。政務調査費の報告は、本市議会と同様に全て領収書を添付。議会だよりは、議員のみで編集。一般質問は、一問一答制と総括方式が選択できる。昨年5月には、議員提案による初の政策条例を制定した。などの取り組みがなされていました。

大村市では、昨年4月に議会基本条例が施行されており、その制定にあたっては議会活動が十分理解されていない点、市民への開かれた議会の構築と議員資質向

上に努める必要があるとの認識の一致から「議会活性化特別委員会」を設置して、①議会基本条例の制定②議会報告会③委員会のあり方について検討がなされております。

議会基本条例の制定については、1期生を中心としたワーキングチームをつくり、条例の素案を検討し、特別委員会の素案を作成、さらに市民との集いの実施、修正後本会議で報告、議会運営委員会で最終検討をし、制定されております。大村市の条例の独自性としては、「市民と議会の集いの実施」を明文化していること。本会議や委員会での「市長等の反問権」を認め、議員に対して考え方を問うことができる旨の条文があることです。

また議会活動報告会では、年2回、議員を4班（6人ずつ）に分け、市内8地区で「市政の課題」と「議会活動」を報告し、市民の意見を聴取しているとのことでした。

緊急質問について

3月定例会におきまして、緊急質問が行われました。

緊急質問とは、天変地異、突発的なできごとの発生などに際し、または執行部の政治的責任などに関し、真にやむを得ないことを客観的に認められる場合に行うものであります。職員の不祥事、定例議会ごとの交通事故の賠償、また議会から発注工事完成工期に対し、疑問、不

安視するなか、大幅な遅延を執行管理体制の不備によって引き起こしたことなどが重なった上に、本年2月19日に、納品しなければならない成果品が5月、6月に遅延することが明らかになり、一般業務に対する執行体制のあり方、責任のあり方などについて、議会最終日に全議員の総意によって質問がされました。

一般質問

禁煙・分煙対策、

子宮頸がんワクチン

三倉 美千子

問 人吉市の禁煙分煙対策の現状は。今年二月厚生労働省から出た「受動喫煙防止対策について」の通達について執行部及び教育長の考えは。

答 庁舎通路の喫煙所・他の施設は別館の一部を除き屋外に設置。保健センターは屋外の吸殻入れも撤去。小中学校全て校舎外に設置。本市の全施設で喫煙マナーを徹底し分煙効果を高め、喫煙所が明確に判断できる表示をして受動喫煙防止に努めたい。教職員・保護者・地域住民へ協力をお願いして将来的には学校敷地内を全面禁煙とする方向でいきたい。

問 子宮頸がんは、検診とワクチンで、ほぼ予防できるとされている。我が国でも昨年十二月二十二日より一般の医療機関で接種できるようになった。先進国では定期接種が進んでおり我が国でも検討されているが、実現するまでの間、人吉市でもワクチン接種の公費補助の要望がある。市の考えは。

答 高額な費用なので国・各市の状況を見ながら検討したい。

市長の政策の三本柱

松田 茂

問 政策の三本柱「観光で食べられる街、農業で食べられる街、企業誘致」について、本市の現在の取り組みと進捗状況について。

答 おもてなしの心をもって、ひと工夫もふた工夫もしながら、今こそ天の時、地の利、人の和をもって取り組んでいく。また新しい農産物のブランド化など民間と行政が一体となって発展させていきたい。企業誘致については、厳しい経済状況ではあるがきちんとした準備はしていきたい。

問 人吉・球磨地域公共交通総合連携計画について。

答 基幹となるくま川鉄道を将来にわたって安定的に維持していくために、国の補助制度を活用するなど、自治体負担をどうするか、慎重に議論をしていく。

問 人吉温泉観光協会の法人化について。

答 人吉の観光発展を自ら創り出し、地元のすばらしい人材を活用しながら、一日も早い黒字を出せる協会となつていただきたい。

人吉駅前広場整備事業の進捗状況は？

笹山 欣悟

問 人吉駅前広場整備事業について、進捗状況と完了予定は。

答 関係機関との協議が十一月までかかったこと、受注機会を増やすため八工区を四分分割にし発注したことなどにより、事務手続きが遅れ三カ月の遅れになった。西側駐車場の四月上旬までに完成させ、その後駅前のロータリー部の工事に着手したい。年度内に回廊、駐車場等は完成する予定で進捗率は四〇パーセントとなる。完成の時期は七月ごろを予定している。

問 SL運休期間中の三月までに工事完成を目指していたが、市民に対して遅延したことの説明責任が果たされているのか。

答 乗客や市民に迷惑が掛からないようにSL運休期間中に工事を完了したいと思っていたが、予測や工程の詰めの甘さが露呈した。大変遺憾に思っており、申し訳なく思っている。

※その他、タウンバス「さるく人吉」の運行、SL運行における安全対策、農家の戸別所得補償モデル対策、職員の不祥事における対策について質問しました。

犬のトラブルについて

ほか2件
田中 哲

問 犬のトラブルについて、その報告は。野犬の捕獲状況は。犬の飼い方と飼育頭数は。気性の荒い大型犬とは。犬の危害防止条例について人吉市の対応は。今後人吉市の対応は。

答 犬に関する苦情は、糞の始末に対するものがほとんどで、鳴き声や野犬に対するものもある。小中学校に野犬が出没した例があり、咬傷事件は去年から今年の二月まで四件発生し、野犬は九三頭捕獲している。飼育方法はオリ・囲いの中で飼育するか、固定したものに確実に繋ぐ。指定地域では十頭以上の飼育は県知事の許可が必要。大型の七種類が猛犬で気性の荒い犬にピックアップされている。

犬による危害防止条例は考えていないが、保健所・狂犬病予防員と連絡を密にして対応する。

※球磨川左岸の下戸越から小栴までのシダレ桜の病気と枯れについては、病気の特定は難しいが、今年27本の植栽をする。また市道南町地内第一号線の狭い区間は、通学道路であることや幅員等を勘案し拡幅工事を検討するとの回答。

新政権の子育て支援策について

立山 勝徳

問 子ども手当と、高校授業料無償化の制度と本市の対応は。

答 子ども手当は保護者の所得に関係なく十五才まで月一万三千円を、六月、十月、二月に前月分までを支給する。現在、児童手当をもらっている人は、新たに申請は要らないが、中学生や、所得制限で児童手当をもらっていない人からは申請が必要。九月三十日まで申請すれば四月分から遡及して支給するが、それ以後は申請の翌月分からとなる。対象者は四三〇〇人。

高校授業料の無償化は、公立高校では授業料を徴収せず国が負担する。私立高校では就学支援金として、年額一十八万八千八百円を、また低所得世帯は、所得に応じて一・五倍から二倍の金額を助成し学校設置者が代理受領する。郡市では、県立五高校（定時制、分校を含む）球磨養護高等部、九枝専高等課程、総数二八三六人が対象となる。

※他に国の一次・二次補正予算の活用、新年度予算の特徴と重点事業、農家の戸別所得補償モデル事業、市職員の不祥事について質問。

ふるさと雇用再生
特別交付金事業
松岡 隼人

問 ふるさと雇用再生特別交付金事業のうち、「国宝青井阿蘇神社」歴史伝統文化体験教育旅行等受入促進事業」と「食文化コミュニティビジネス創出推進事業」の平成二十二年度当初予算への計上を見送られる理由は。

答 事業の実施場所や内容について誤解が生じやすい、地域のような主体との連携の仕組みが不足している等の課題が生じているので、事業の内容や仕組みを再精査する必要があると判断したため。

問 今後、観光で食べられるためにはどうするのか。

答 人吉の様々な地域資源を認識し、知恵を働かせていく。

問 第三子以降の保育料を早急に無料にするべきだ。

答 平成二十三年度からの実施を視野に検討する。

※ 市職員の不祥事に関して、ジェネリック医薬品希望カード配布事業について、また学校情報通信技術環境整備事業についても、質問を行いました。

不登校問題について
豊永 貞夫

問 全国的に不登校児童生徒が増加傾向にあるなか、本市においても小学校から中学校へ進学した際に、不登校生徒が増えているが、その原因と対策は。

答 不登校の要因や背景は様々であり、一概に論ずることはできないが、集団構成が変わり、人間関係や学業不振、無気力や不規則な生活のリズムなど、はつきりとした理由が分からないケースが増えている。不登校を出さない未然防止策として、子どもの悩みや不安を気軽に相談できる信頼関係を築く。不登校児童生徒には、学校全体の問題として、個々の情報を共有し、取り組んでいる。二十二年度からいじめや不登校の解消を図る「人吉っ子アドバイザー」を設置し、対応していきたいと考えている。

問 予防医療として、乳幼児に對する「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」と女性の「子宮頸がんワクチン」それぞれに対して公費助成の考えは。

答 財政上厳しい状況で、近隣の市町村の動向を考慮し、検討してまいりたいと考えている。

無保険世帯の解消を
本村 令斗

問 国保世帯のうち国保税滞納世帯に交付される短期保険証の割合は、十八・二四％と県下で一番高く、県平均の倍近い。保険証を市役所窓口で留保し、保険料の納付を迫るためではないか。厚労省は通知を出し、「長期間の留保は望ましくない」としている。一定期間を過ぎたら、被保険者に手渡すべき。

答 対象者の方は、窓口に来てもらうことを基本としているが、家庭への訪問等を含め、接触の機会を設けるようにしたい。

問 二〇〇八年度に国保税が大幅に引き上げられ、新聞も「四大家族のモデルで、全国で五番目に値上げ幅が大きかった」としている。これにより一〇〇戸だった滞納世帯が、翌年度二六八戸へと急増している。高すぎる国保税を引き下げるべき。

答 医療費の増大と市の財政難により、非常に困難と考えている。

問 所得格差が叫ばれるなか、就学援助はますます重要になっており、制度を充実させるべき。

答 社会や経済状況、国・県の動向を考慮しながら、検討したい。

学校へのクレーム対応のための機関は？
西 信八郎

問 学校教職員の多忙を緩和して子供の教育にエネルギーを注げるよう、また、クレームを公平中立に解決するため、教育委員会内に相談センターのような係を設けて問題解決に向けての体制づくりをしてはどうか。

答 保護者からの様々な申し出については、学校がその保護者との信頼関係において解決していくことが、最善の方法であると考える。法的な対応が必要な場合は、市の顧問弁護士の助言を受ける。

問 食と農業について学ぶ食農教育は、子供達への教育という面からも、地域の農業を活性化させるという面からも、大切であると思うが、教育長はどう考えているか。

答 県下及び本市においては系統的、組織的に食農教育に取り組んではいないが、一般に児童生徒の生活体験が不足しているといわれている。農業体験も含めて、体験活動は大変重要である。

※この他に農家の戸別所得補償制度について質問しました

特用林産物振興、社会福祉事業団の移譲
下田代 勝

特用林産物の振興、人吉市社会福祉事業団への経営移譲、全国学力テスト等について質問しました。

問 共栄精密(株)の菌床製造確立に伴い、キクラゲ等キノコ栽培生産者、生産組織は。菌床培養に休廃校校舎等の活用は。ブランド化目標は。原木ホダ木の栽培は。中山間農地との組合せは。販路は。推進室の設置は。

答 栽培者を募り生産組合を組織。二次培養も生産組合で行い、廃校舎等利用を検討する。キクラゲ等キノコブランドは、三十万菌床栽培で、日本一を目指す。原木ホダ木は家庭用を推進。中山間放棄農地も活用。農業等との組合せを進める。販路は手掛り有。推進室設置は喫緊課題。他にボックス式等によるワサビ栽培も進められる。

問 人吉市社会福祉事業団は、四月一日から民設民営化される。今後、運営上財政的危機に直面した場合、市の支援は。運営上万一の場合は、人吉市が支援を行う。

※全国学力・学習テストの希望校に、市費投入をも質しました。

まち歩き観光と公共交通の活用
川野 精一

問 まち歩き観光の重要性と実践について、市長の考えは。答 「長崎さるく」に代表されるように、まち歩き観光は、重要な観光素材の一つ。好評の観光案内人の協力を得て、観光客が容易に案内を受けられる着地型観光のシステムを構築し、積極的にPRしていく。

問 鉄道近代化産業遺産の活用と、急がれる観光情報の発信は。答 ループ線、スイッチバック、駅舎や機関庫など、百年を迎えた産業遺産と、SL人吉に代表されるスローな列車の旅をPRし、来春開業の新幹線に間に合うように、行政と民間団体とで、旅行企画の諸機関、メディアも利用し、十月までに情報を発信していく。

問 公共交通機関の利用促進は。答 地域住民の足を守るためにも、原点に立ち返りマイルール意識の形成に取り組む。タウンバスの運行を契機に、交通空白地帯の解消に取り組む。認知症高齢者の徘徊対策は、高齢者地域包括ネットワークを活用し、より広域に進める。

緊急雇用対策の状況について
井上 光浩

問 昨年十二月から人吉市が開始した緊急雇用対策、再就職状況は。来年度も雇用を継続するの。答 延べ一二人を雇用し、八人が新たな就職先が見つかり、他二人が職業訓練のために退職された。来年度の雇用は、ふるさと雇用再生特別基金で一五人、希望するなら継続できる。緊急雇用創出基金で一五人で一回のみ更新でき、一年に達すると継続できない。

問 高校新卒者の未就職者への対応も緊急雇用対策の中で検討されたのか。答 新規高卒者の就業支援は、人吉商工会議所が事務局となり人吉球磨雇用対策協議会の中で協議されている状況であり、緊急雇用創出事業の中には、市が直接雇用する事業もある。新規高卒者の方を積極的に募集していただきたいと考えている。

問 孤立集落の高齢者、災害時要援護者の避難計画の具体化は。答 地域生活課、福祉課、道路河川課等と連携をとりながら、総合的な対策の検討を進める。

市道改良の状況について
永山 芳宏

問 矢黒町と永野町を結ぶ市道戸越永葉線二五四四mの改良について、平成一九年三月の定例会で要望した、一ツ橋までの約二六七m区間は落石防止の工事はされているが、改良はされていない。通学路でもありその後の改良計画の状況はどのようになっているのか。

問 一ツ橋の架け替え工事を行う場合には、現在の橋を活用する方法と別の箇所に架け替えする方法がある。道路線形も大きく変わり地域住民の理解が必要となる。また仮橋を設置する場合には、住宅の移転も発生する事から相当な事業費が必要となり現在の財政状況からすると大変厳しい。

問 さざなみ保育園の所から、市道戸越永葉線と交差する市道下戸越線で、車両通行の際、児童が蓋の無い側溝の縁に乗って退避している。安全なスペースの確保はできないか。

人吉城跡保存整備事業
仲村 勝治

問 人吉城跡保存整備事業は、昭和五十七年七月、史跡人吉城跡保存管理計画策定から始まり、発掘調査、復元工事、歴史館の建設と整備事業が進められている。平成一五年に追加指定された中世城史跡を含めた新しい保存管理計画が策定される場合、御館ゾーンの整備が遅れるのではないかと、相良神社の前の堀及び周囲を整備する考えは。

問 御館跡の整備を実施すると、土地の公有化、神社の移転補償、発掘調査を経ての整備工事となり、「保存管理計画」では長期的な整備計画として位置付ける。

問 市庁舎は、二つの理由から移転すべきと考える。一つは、文化財保護法に基づき、人吉城跡の管理団体として指定されることに同意している。二つは、公共用の建物として耐震基準を満たしていないと考えるが。

男女共同参画基本計画の見直しについて
森口 勝之

問 男女共同参画基本計画の見直しはいつまでに実行するのか。答 平成二十二年度中に行う。

問 市内小中学校における男女混合名簿の採用状況は。答 男女別の名簿を採用しているのは小学校一校、中学校二校で、男女混合名簿は小学校六校と中学校一校が採用している。

問 計画の中では学校教育においてリプロ(性と生殖に関する健康・権利)の理念を啓発していくことになっている。他地域ではこれを曲解して非常識な性教育を実施している事例が報告されており、健全な成長が期待される市内の児童達には必要ではないか。母性の尊重という観点から健康福祉部の所管に限定するべきであると考えている。

問 真の男女共同参画社会の構築に向けての市長の考えは。答 しっかりとした計画を策定し、例えば、一歩進んだ老若男女共同参画社会づくりを目指し、市民が皆で支えあって生きていく社会の実現を図っていききたい。

3 月定例会における議案等の審議結果

番 号	件 名	議決結果
議 第 1 号	平成21年度人吉市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議 第 2 号	平成21年度人吉球磨地域交通体系整備特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議 第 3 号	平成21年度人吉市カルチャーパレス特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議 第 4 号	平成21年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第6号)	原案可決
議 第 5 号	平成21年度人吉市老人保健医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議 第 6 号	平成21年度人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議 第 7 号	平成21年度人吉市介護保険特別会計補正予算(第6号)	原案可決
議 第 8 号	平成21年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算(第6号)	原案可決
議 第 9 号	平成21年度人吉市水道事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議 第 10号	平成21年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議 第 11号	平成21年度人吉市国民宿舎特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議 第 12号	平成22年度人吉市一般会計予算	原案可決
議 第 13号	平成22年度人吉球磨地域交通体系整備特別会計予算	原案可決
議 第 14号	平成22年度人吉市カルチャーパレス特別会計予算	原案可決
議 第 15号	平成22年度人吉市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議 第 16号	平成22年度人吉市老人保健医療特別会計予算	原案可決
議 第 17号	平成22年度人吉市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議 第 18号	平成22年度人吉市介護保険特別会計予算	原案可決
議 第 19号	平成22年度人吉市介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議 第 20号	平成22年度人吉市水道事業特別会計予算	原案可決
議 第 21号	平成22年度人吉市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議 第 22号	平成22年度人吉市国民宿舎特別会計予算	原案可決
議 第 23号	平成22年度人吉市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決
議 第 24号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 25号	人吉市地域公共交通会議設置条例の制定について	原案可決
議 第 26号	人吉市職員の給与に関する条例及び人吉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 27号	人吉市職員の退職手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 28号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 29号	人吉市消防団条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 30号	人吉市民まちづくり応援事業条例の制定について	継続審査
議 第 31号	人吉市民まちづくり応援事業審議会設置条例の制定について	継続審査
議 第 32号	人吉市男女共同参画推進条例の制定について	継続審査
議 第 33号	人吉市男女共同参画推進審議会設置条例の制定について	継続審査
議 第 34号	人吉市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	原案可決
議 第 35号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 36号	人吉市健康増進計画・食育推進計画策定委員会設置条例の制定について	原案可決
議 第 37号	委託に関する協定の締結についての議決内容の一部変更について	原案可決
議 第 38号	市有財産の無償貸付けについて	原案可決
議 第 39号	権利の放棄について	原案可決
議 第 40号	損害の賠償について	原案可決
議 第 41号	損害の賠償について	原案可決
議 第 42号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意
議 第 43号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意
議 第 44号	平成21年度人吉市一般会計補正予算(第11号)	原案可決
議 第 45号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 46号	人吉市教育委員会の教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
諮 第 1・2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推 薦

球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会

3月定例会においての特別委員会審査は、第6回目の委員会開催となり、審議事項は去る2月9日に第5回の特別委員会を開催し、「第5回及び第6回ダムによらない治水を検討する場」において示された球磨川治水対策案について、国土交通省及び熊本県の担当者の方から説明を受け、その後、市内2カ所、近隣町村1カ所、計3カ所の治水対策箇所の現地調査を行いました。今回はその特別委員会の審査を踏まえ質問事項のとりまとめを行っております。

審議の中において、委員からの質問事項として、直ちに実施する対策の「直ちに」とは、具体的にどれくらいの期間を想定されているのか。技術面について河川掘削、河川改修により温泉や地下水に影響はないのか、また、影響が懸念されるとすれば事前調査が必要ではないか。市房ダムの再開発について、建築後50年経過しコン

- 委員長 山下 幸一 ●副委員長 村上 恵一
- 委員 井上 光浩・豊永 貞夫・川野 精一・森口 勝之
田中 哲・本村 令斗・下田代 勝

クリートもかなり劣化しているが、規模拡充という計画が可能なのか。球磨川の安全度について、河川整備方針には、80分の1とうたっているが、それは法的な根拠も含めて現在も生きているのか。現在の河道でどれだけの流下能力があり、安全度でいえば何分の1の確立になるのか、等々の質問がございました。

「新人吉市洪水ハザードマップ」については、各災害対策支部において説明がなされ、地域の方々の意見や各委員からの意見等を取り入れ、今後は議会への説明を経て、6月に全戸配布し、6月中旬から市民に対して、各校区単位で説明会を開催するとのことであります。

今回の特別委員会は、質問事項をもとに特別委員会の所管事項調査として、国土交通省八代河川国道事務所及び熊本県庁へ出向き意見交換を行うことといたしております。

公益的施設の適正配置に関する特別委員会

◎人吉総合病院の建替えについて

総合病院棟の一部が老朽化しており、また耐震構造になっていないので、国の耐震化臨時交付金を利用して移転建替を計画され、移転先として市有地を希望されたので、市は◎梢山工業団地、◎能力開発センター◎市庁舎別館一帯を候補地と定めて検討し、議会は特別委員会を設置して審査してきました。病院の計画では、病院機能は新築移転しても、耐震構造を備え資産価値も高い健康管理センターは解体せず、福祉医療などに利活用する計画でありましたが、耐震化交付金を受けるためには、全面解体が条件であることが昨年末に明確になりました。総合病院としては、全面解体移転新築か、部分解体現在地建替えか、二者択一の選択として後者を決断され、総合病院の建替えは現在地に決定いたしました。地域の拠点病院として充実した病院が完成するよう望みます。

◎市の普通財産（土地）の状況について

市の遊休財産の利活用を図るために、まず普通財産の状況について資料の提出と説明を求めましたが下記の通りです。※宅地51筆、面積7,302.16㎡ ※田2筆1,047

- 委員長 立山 勝徳 ●副委員長 三倉 美千子
- 委員 松岡 隼人・笹山 欣悟・西 信八郎・松田 茂
永山 芳宏・福屋 法晴・仲村 勝治

㎡、※畑4筆、2,671㎡、※山林14筆、71,732㎡、※墓地・雑種地8筆、4,546㎡、※池沼2筆、3,494㎡、※鉱泉地2筆、9.98㎡、合計83筆 90,802.14㎡。宅地は代替予定地のほかは、用地取得時の残地などで小面積が多く、今後は公表しながら売却の方針です。

◎旧中津留美術館跡地の利活用について

旧中津留美術館跡地は、平成18年9月議会で予算を可決し、将来の図書館用として先行取得し、建物の一部を児童図書館や市民ギャラリーとして使用すると購入したものです。購入価格は、土地3,226.57㎡で6,400万円、建物910.68㎡、1,585万5千円となっています。しかし児童図書館や市民ギャラリーとして有効活用するためには多額の投資が必要です。また新たな図書館建設には厳しい財政問題があり、カルチャーパレスの市図書館と広域図書館をどうするのかも定まらず、市執行部の考え方を示すように求めたところです。

編集後記

今年には温暖化のせいかわ、桜の開花が早く、近年の気候の変動は、次に何をもちたらすのか、本当に気になるところでもあります。

さて三月二日に開会しました三月議会は、三月二十五日閉会しました。一般質問に十五人登壇して執行部の考えを質しました。また四十八の議案を審議し、四十四の議案を原案どおり可決しております。主なもので市民の皆さんに直接関係する一般会計予算は二十一年度補正予算が一億三千万六千円増の一億三千万四千九百円増であり、二十二年当初予算は前年度比三億五千万七千三百円増の一億三千万五千円増であります。市中の景気は依然として厳しく、国も市も継続した景気対策が望まれるところでもあります。また今年から子ども手当でと高校授業料無償化がスタートしますが、少子化対策、子育て応援の目玉となることを期待したいと思います。

(文責：田中 哲)

【議会報編集委員会】

- 委員長／大王英二
- 副委員長／蓑毛正勝
- 委員 員／松岡隼人 井上光浩
- 松田 茂 田中 哲
- 本村令斗 下田代勝

次の定例会は六月です